

# 第112期 株主通信

平成18年12月1日～平成19年11月30日

## ■株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	毎年2月
同総会議決権行使 株主確定日	毎年11月30日
期末配当金支払 株主確定日	毎年11月30日
中間配当金支払 株主確定日	毎年5月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
(連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 お問合せ先 0120-232-711 (フリーダイヤル) 各種手続用紙のご請求 0120-244-479 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店 野村證券株式会社全国本支店
公告方法	当社ホームページに掲載いたします。 但し、電子公告を行うことができない事 故その他のやむを得ない事由が生じたと きは、日本経済新聞に掲載いたします。

## ■HP紹介



# 株主のみなさまへ

# 連結決算ハイライト

## Contents

- 株主のみなさまへ ..... 1
- 連結決算ハイライト ..... 2
- 営業の概況 ..... 3
- 部門別 ..... 3
- 連結財務諸表 ..... 5
- 単体財務諸表 ..... 7
- トピックス ..... 8
- 会社の概況 ..... 9
- 株式の概況 ..... 10

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご協力を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

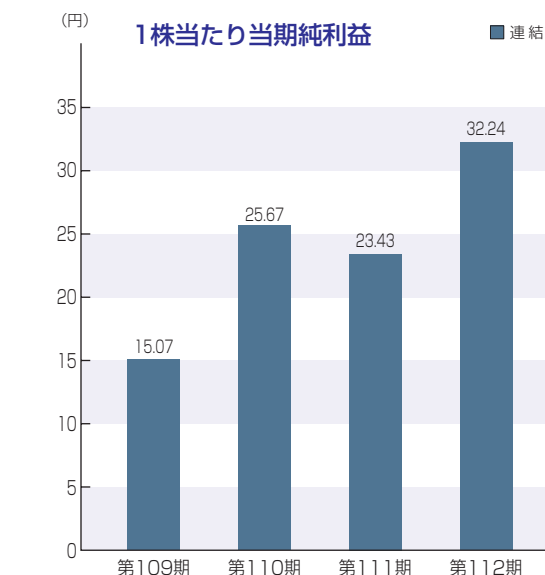
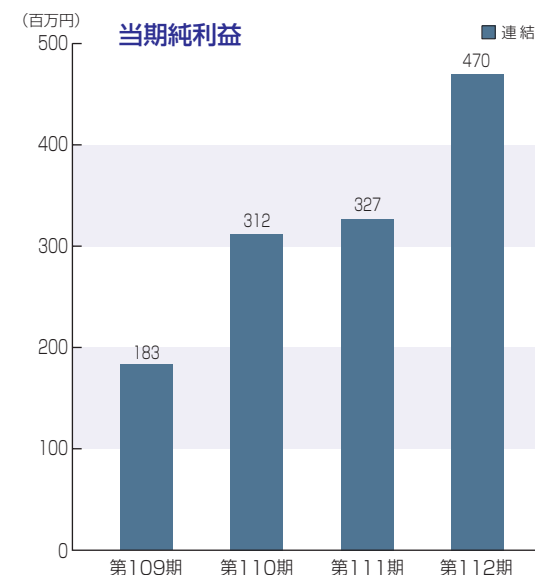
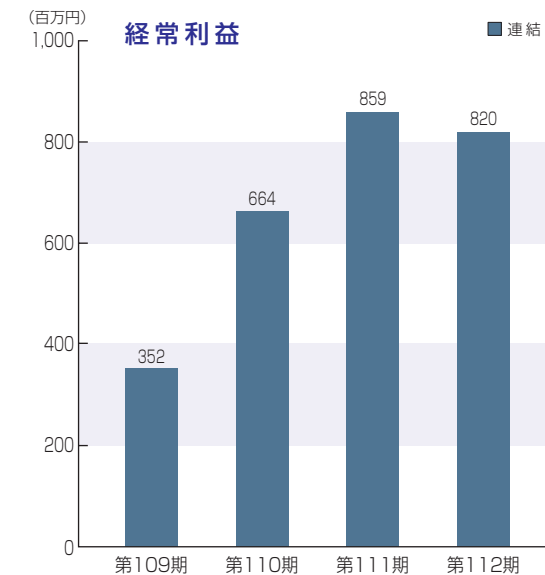
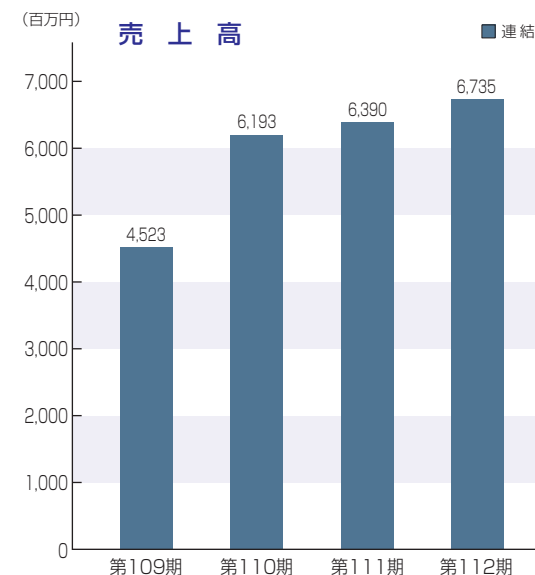
さて、当社は、平成19年11月30日をもちまして、第112期(平成18年12月1日から平成19年11月30日まで)が終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

なお、今後につきましても、業績の向上を目指して更に努力する所存でございますので、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年2月



取締役社長  
渡邊 洋三



# 営業の概況

# 部門別

## ■当期の概況

当連結会計年度の世界の経済情勢は、サブプライムローン問題等を背景に後半米国経済がスローダウンの兆しをみせたものの、中国をはじめとするアジアでの成長により総じて堅調に推移しました。国内経済は堅調な輸出の伸長はあったものの個人消費の伸び悩み等により国内需要の伸びは鈍化しました。

一方当業界を取り巻く状況ですが国土交通省発表の21社統計によれば全国ベースでの月末保管残高は金額が商品価格の上昇もあり前年比9%のプラスとなりました。しかしながら数量は前年比横ばいに留まり、首都圏を除いてはまだ回復基調にない状況でした。

当社グループの売上高は不動産事業が期初想定通りに推移し前年比14.3%の増収となったことならびに物流事業も草加営業所の営業開始等により前年比わずかながら増加いたしました。この結果売上高は6,735百万円、前年比344百万円の増収、営業利益は811百万円、前年比80百万円の減益、経常利益は820百万円、前年比39百万円の減益となりました。当期純利益は前年度に新規計上した役員退職慰労引当金128百万円のような特殊要因がなくなったことから470百万円、前年比142百万円の増益となりました。



## ■物流事業

首都圏での物流量に増加はみられるものの保管料をはじめとする各種料金は低迷していました。こういった状況のもと営業に全力を傾けた結果8月より草加営業所が稼動を開始したことならびに子会社東北丸八運輸(株)の売上高増により、一部荷主の在庫減、仙台地区の相変わらずの不振等をカバーし、売上高はわずかながら増収となりました。この結果売上高は4,307百万円、前年比39百万円の増収、営業利益は草加営業所の償却増等もあり860百万円、前年比横ばいとなりました。

## ■不動産事業

子会社丸八クリエイト(株)の仙台でのマンション売却が予定通り完了したこと、ならびにマンション共同事業者に対し開発予定の土地を売却したこと等により売上高は増収となりました。ただ営業利益は前年度と違い不動産の利益率が低下したことで減益となりました。この結果売上高は2,427百万円、前年比305百万円の増収、営業利益は410百万円、前年比48百万円の減益となりました。

## ■部門別売上高

### 連結

当社グループの事業部門別売上高

区 分	当連結会計年度 〔平成18年12月1日から 平成19年11月30日まで〕	
	金 額	構成比
物 流 事 業	4,307 百万円	64 %
不動産事業	2,427	36
合 計	6,735	100

## ■来年度の見通し

来年度の見通しですが米国のサブプライムローン問題をきっかけとする世界的なマネーの流れが収縮するなかで世界経済の先行きに対する不透明感が高まってきています。輸出と設備投資の伸びに支えられて成長を続けてきたわが国経済もその影響を受ける可能性は高く景気はスローダウンするものと思われれます。一方当業界を取り巻く環境も相変わらずの厳しい状態が続くものと考えております。

こういった環境の下、物流事業では8月に稼動を開始した草加営業所が期を通じて寄与することにより物流事業の売上高は前年度に比べ増収を見込んでおります。不動産事業の売上高はたな卸資産に保有している物件を着実に売却することにより増収を見込んでおります。

通期の見通しですが売上高は7,379百万円、前年比644百万円の増収、営業利益は921百万円、前年比110百万円の増益、経常利益は828百万円、前年比80百万円の増益、当期純利益は441百万円、29百万円の減益と予想しております。

なお上期の見通しにつきましては売上高は3,723百万円、前年同期比132百万円の減収、営業利益は482百万円、24百万円の減益、経常利益は433百万円、前年同期比44百万円の減益、当期純利益は258百万円、27百万円の減益と予想しております。

## ■対処すべき課題

対処すべき課題として、以下の2点について注力していきたいと考えております。

- ① 千葉県八街市で文書保管専用倉庫が来年度初めに一部稼動を開始します。まずこれを早期にフル稼動にするべく従来にもまして営業を強化する所存です。2期工事が平成20年秋には完了する見込みでありこれとあわせて当社の営業基盤の確立に寄与するものと考えております。当初の計画では3年での黒字化を目指しております。
- ② これとあわせて従来から課題としております既存顧客とのコミュニケーションの維持、ならびに顧客別採算の維持向上も図ってまいります。またバランスシート外で稼げる体制、すなわち良質な物件確保による所管面積の拡大を図っていきたいと考えております。

# 連結財務諸表

## ■連結貸借対照表

科目	当期 (平成19年11月30日現在)
<b>資産の部</b>	
流動資産	3,295,539
現金及び預金	122,067
受取手形及び営業未収金	356,959
たな卸資産	2,464,982
未収消費税	49,998
繰延税金資産	40,998
その他	260,680
貸倒引当金	△ 147
固定資産	11,603,710
有形固定資産	10,103,249
建物及び構築物	4,646,122
機械装置及び運搬具	269,037
土地	4,728,370
建設仮勘定	279,258
その他	180,461
無形固定資産	20,856
借地の権	995
その他	19,860
投資その他の資産	1,479,604
投資有価証券	939,488
従業員長期貸付金	16,474
長期貸付金	60,000
差入保員証	324,820
繰延税金資産	30,213
繰延税金資産	49,064
その他	64,152
貸倒引当金	△ 4,610
<b>資産合計</b>	<b>14,899,249</b>

(単位：千円)

科目	当期 (平成19年11月30日現在)
<b>負債の部</b>	
流動負債	3,903,385
営業未払金	118,656
短期借入金	3,099,757
未払金	99,309
未払費用	176,548
未払法人税等	169,952
未払消費税等	13,721
未払前役員賞与引当金	188,915
その他	25,000
固定負債	11,523
長期借入金	4,375,169
長期預り保証金	3,216,053
繰延税金負債	797,439
退職給付引当金	96
役員退職慰労引当金	173,410
その他	185,719
負債合計	8,278,554
<b>純資産の部</b>	
株主資本	6,564,995
資本金	2,527,600
資本剰余金	2,046,936
利益剰余金	1,992,547
自己株式	△ 2,088
評価・換算差額等	33,799
その他有価証券評価差額金	33,799
少数株主持分	21,899
純資産合計	6,620,695
負債及び純資産合計	14,899,249

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ■連結損益計算書

科目	当期 (平成18年12月1日から 平成19年11月30日まで)
売上高	6,735,507
売上原価	5,250,232
売上総利益	1,485,274
販売費及び一般管理費	673,377
営業利益	811,896
営業外収益	112,838
受取利息	3,599
受取配当金	12,151
保険解約返戻金	2,669
のれん償却	875
倉庫解約違約金	1,768
その他	75,000
営業外費用	16,773
支払利息	104,683
その他	98,216
経常利益	6,467
特別利益	820,051
固定資産売却益	24,795
投資有価証券売却益	820
前期損益修正	20,250
貸倒引当金戻入	3,532
特別損失	193
固定資産除却損	2,526
固定資産売却損	2,401
税金等調整前当期純利益	124
法人税、住民税及び事業税	842,320
法人税等調整額	377,947
少数株主利益	△ 9,279
当期純利益	3,302
	470,349

(単位：千円)

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 (平成18年12月1日から 平成19年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,732
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,886,253
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,867,963
現金および現金同等物の増減額	47,442
現金および現金同等物期首残高	74,624
現金および現金同等物の期末残高	122,067

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ■連結株主資本等変動計算書

当期 (平成18年12月1日から 平成19年11月30日まで)	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券評価差額金	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成18年11月30日残高	2,527,600	2,046,936	1,624,339	△ 1,751	6,197,123	81,648	18,597	6,297,369
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 102,141		△ 102,141			△ 102,141
当期純利益			470,349		470,349			470,349
自己株式の取得				△ 336	△ 336			△ 336
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 47,849	3,302	△ 44,546
連結会計年度中の変動額合計	-	-	368,208	△ 336	367,871	△ 47,849	3,302	323,325
平成19年11月30日残高	2,527,600	2,046,936	1,992,547	△ 2,088	6,564,995	33,799	21,899	6,620,695

(単位：千円)

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



# 単体財務諸表

## ■貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 (平成19年11月30日現在)
<b>資産の部</b>	
流動資産	416,555
固定資産	13,409,516
有形固定資産	9,555,755
無形固定資産	20,216
投資その他の資産	3,833,545
<b>資産合計</b>	<b>13,826,071</b>
<b>負債の部</b>	
流動負債	3,630,434
固定負債	4,216,041
<b>負債合計</b>	<b>7,846,475</b>
<b>純資産の部</b>	
株主資本	5,945,982
資本金	2,527,600
資本剰余金	2,046,936
利益剰余金	1,373,534
自己株式	△ 2,088
評価・換算差額等	33,613
その他有価証券評価差額金	33,613
<b>純資産合計</b>	<b>5,979,596</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>13,826,071</b>

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ■損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成18年12月1日から 平成19年11月30日まで)
売上高	3,547,277
売上原価	2,562,745
売上総利益	984,532
販売費及び一般管理費	568,360
営業利益	416,172
営業外収益	147,636
受取利息	43,167
受取配当金	12,128
保険配当金	2,291
保険解約返戻金	843
貸倉庫解約違約金	75,000
その他	14,205
営業外費用	100,262
支払利息	93,999
その他	6,263
<b>経常利益</b>	<b>463,545</b>
特別利益	24,647
固定資産売却益	675
投資有価証券売却益	20,250
前期損益修正益	3,532
貸倒引当金戻入益	190
特別損失	2,526
固定資産除却損	2,401
固定資産売却損	124
<b>税引前当期純利益</b>	<b>485,665</b>
法人税、住民税及び事業税	225,403
法人税等調整額	2,376
<b>当期純利益</b>	<b>257,886</b>

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# トピックス

## ■草加営業所 開設

埼玉県草加市に建設してました草加倉庫は、平成19年8月に稼働開始いたしました。

草加市は東京都に隣接し都心へのアクセスが良く利便性に優れ、首都圏の活動拠点として関東一円を網羅し、お客様の多様な要望にお応えできる倉庫です。



### 建物概要

- 用途 倉庫 (2棟)
- 構造 RC造5階建 (一部鉄骨造)・高床式
- 建築面積 4,410.79㎡ (1,334.26坪)
- 床面積 北棟 11,445.57㎡ (3,462.28坪)  
南棟 7,033.68㎡ (2,172.68坪)

## ■八街営業所セキュリティセンターA棟 開設

千葉県八街市に建設してました八街営業所セキュリティセンターは、平成19年12月に営業開始いたしました。

機密文書、磁気テープ、マイクロフィルム等を最も適切な方法で保管・管理し、セキュリティ確保に万全を期したセキュリティセンターです。



### 建物概要

- 用途 倉庫 (2棟) 文書保管倉庫
- 構造 鉄骨造 平家建 2棟
- 床面積 A棟 2,083.17㎡ (630.16坪) 約78,000ケース収納  
B棟 2,742.43㎡ (829.58坪) 約108,000ケース収納  
※B棟につきましては、平成20年5月着工予定です。

# 会社の概況

## ■会社概要

平成19年11月30日現在

商号 丸八倉庫株式会社  
 英文 Maruhachi Warehouse Company, Limited  
 設立 昭和9年3月  
 資本金 25億2,760万円  
 従業員数 45名

## ■役員

平成20年2月28日現在

取締役社長 渡邊 洋三  
 専務取締役 平山 俊二  
 常務取締役 立川 彰  
 常務取締役 峯島 一郎  
 取締役 峯島 茂兵衛  
 取締役 佐々木 光昭  
 取締役 岩佐 征三  
 常勤監査役 石川 勝治  
 監査役 堀切 英武  
 監査役 富安 一彦

## ■事業所

### ①当社の主要な事業所

清澄営業所	東京都東区	埼玉営業所	埼玉県所沢市
高橋営業所	//	草加営業所	埼玉県草加市
若洲営業所	//	宇都宮営業所	栃木県河内郡
葛西営業所	東京都江戸川区	仙台営業所	宮城県仙台市
板橋営業所	東京都板橋区		

### ②子会社の事業所

東北丸八運輸株式会社 宮城県仙台市若林区卸町東四丁目1番11号  
 丸八クリエイティブ株式会社 東京都東区富岡二丁目1番9号

# 株式の概況

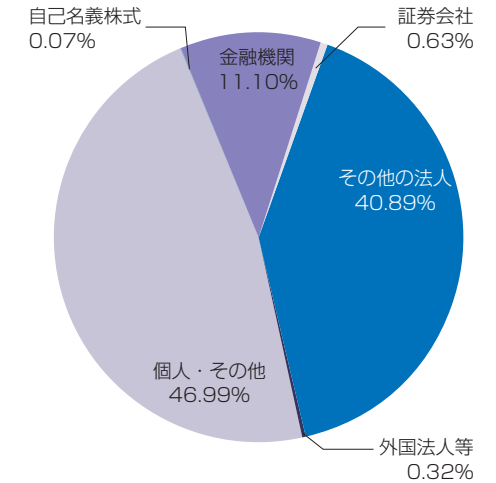
## ■株式の状況

平成19年11月30日現在

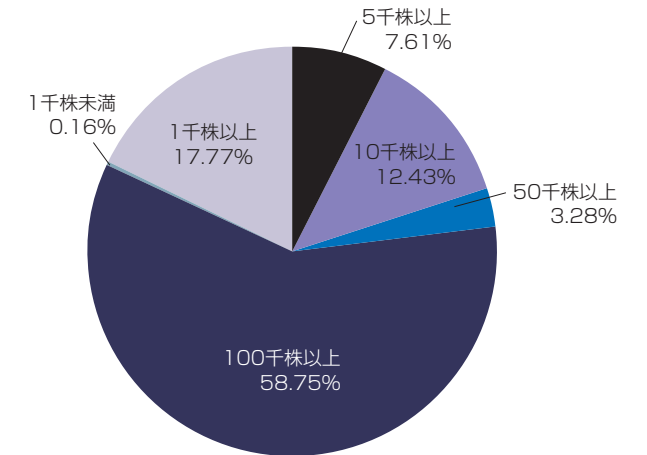
■発行済株式の総数 ..... 14,600,000株  
 ■株主数 ..... 2,181名  
 ■大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
尾張屋土地株	3,278	22.53
山崎商事株	800	5.50
東京海上日動火災保険株式会社	654	4.49
三菱UFJ信託銀行株式会社	460	3.16
養命酒製造株式会社	400	2.75
峯島 一郎	349	2.39
株式会社三菱東京UFJ銀行	308	2.11
神原 学	300	2.06
有限会社八峯	264	1.81
有限会社藍屋	243	1.67

## ■所有者別株式数分布



## ■所有数別株式数分布



**プライバシーマーク付与認定**  
 平成18年6月、当社では、プライバシーマークの付与認定を受けました。当社では、個人情報保護方針にしたがってお客様の個人情報を適切に取り扱い、プライバシーの保護に努めてまいります。